

号外

琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

2013年(平成25年)

12月27日(金)

発行所 琉球新報社

郵便番号 〒900-8525

那覇市天久905番地

©琉球新報社2013年

辺野古埋め立て承認

「環境基準に適合」

知事会見 辞任言及せず



振興策を評価

仲井真弘多知事は27日午後3時すぎから、那覇市の知事公舎で記者会見し、政府が米軍普天間飛行場の移設に向けて申請した名護市辺野古沿岸の埋め立てを承認したことを正式に発表した。承認の理由について知事は「現段階で取り得ると考えられる環境保全措置などが講じられており、(公有水面埋立法の)基準に適合していると判断した」と説明し、承認への県民の理解を求めた。

その上で普天間の県外移設を求めている自身の選挙公約との整合性に関し、「県外の既に飛行場のある場所へ移設する方が最も早いという私の考えは変わらない。辺野古移設を実行するにしても、暫定的であったとしても、考え得る県外移設案を全て検討し、(普天間飛行場の)5年以内の運用停止を図る必要がある」と強調した。

仲井真知事は「安倍内閣の沖縄に対する思いはかつてのどの内閣にもまして強い」と述べ、沖縄振興予算の増額などを高く評価。基地負担軽減策を含めた安倍晋三首相からの回答も踏まえ、承認に至ったとの考えを示した。

知事は承認の責任を取って辞任する考えはないことも明らかにした。

米軍普天間飛行場移設に伴う名護市辺野古埋め立て申請の承認について意見を述べる仲井真弘多知事―27日午後3時すぎ、那覇市寄宮の知事公舎

普天間問題の経緯

- 1995年9月 ▶ 米兵による沖縄少女暴行事件
- 96年4月 ▶ 日米両政府が米軍普天間飛行場返還と沖縄県内移設で合意
- 12月 ▶ 沖縄本島東海岸沖に代替基地建設との日米特別行動委員会(SACO)最終報告。名護市辺野古沖を想定
- 99年12月 ▶ 辺野古沿岸を移設先に閣議決定
- 2004年8月 ▶ 普天間に隣接する沖縄国際大に米軍ヘリコプター墜落
- 06年5月 ▶ 日米が辺野古沿岸部へのV字形滑走路建設に合意
- 07年8月 ▶ 防衛省が環境影響評価(アセスメント)手続き着手
- 09年9月 ▶ 民主党の鳩山由紀夫首相が県外移設前提と表明
- 10年5月 ▶ 移設先を辺野古とする日米共同声明
- 12年10月 ▶ 米軍が新型輸送機MV22オスプレイを普天間配備
- 12月 ▶ 第2次安倍政権発足
- 13年1月 ▶ アセス関連手続き完了
- 3月 ▶ 政府が辺野古沿岸部埋め立てを県に申請
- 4月 ▶ 日米が辺野古移設を前提とした22年度以降の普天間返還で合意
- 12月24日 ▶ 安倍晋三首相が沖縄振興予算を21年度まで毎年度3000億円台確保する方針を閣議で表明
- 25日 ▶ 首相が沖縄県の仲井真弘多知事に米軍基地負担軽減策を説明し、移設への理解要請
- 27日 ▶ 知事が辺野古沿岸部の埋め立て承認



「屈しない」と書かれたプラカードを掲げ、ガンバローを三唱する市民たち＝27日午後2時ごろ、那覇市泉崎の県庁ロビー

「屈せず」県民怒り



県庁のロビーに座り込み、不承認を求める市民たち＝27日午後1時すぎ、那覇市泉崎



仲井真弘多知事の辺野古埋め立て申請承認に抗議する集会の参加者ら＝27日午前10時30分、那覇市泉崎の県民広場

米軍普天間飛行場＝26日、宜野湾市で共同通信社ヘリから



政府が埋め立てを申請している名護市辺野古沿岸部＝26日、共同通信社ヘリから



米軍普天間飛行場の移設に反対して、辺野古で抗議活動続ける人たち＝27日午前、名護市